

平成 25 年度事務事業評価調査

事業コード	01060101	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行	<input type="checkbox"/> 経常	
事務事業名	下水道整備事業	担当部署名	上下水道課		
		作成責任者職氏名	課長 猪久保 真一	内線	410
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)		
	01安全・安心・環境	06生活排水対策の推進	01下水道の整備		
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等	
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	下水道法	義務付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>生活環境の改善、公共水域の水質保全を図る。</p> <p>②内容</p> <p>下水道施設工事等の発注及び監督業務を行う。</p>	<p>村民</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>下水道を整備することにより村民の生活環境改善及び公共水域の水質保全できる。</p>	<p>計画的な整備を行うために、財源確保が重要である。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
		23 年度 実績	24 年度		25 年度 事業費(見込)	26 年度 事業費(見込)		
			事業費(予算)	実績(見込)				
事業費(見込含む)(千円)(A)		22,412	36,475	31,012	51,487	48,000		
財源内訳	国庫支出金	7,600	10,000	9,000	18,000	18,000		
	府支出金							
	分担金・負担金	3,575	1,003	2,512	1,113	1,000		
	使用料・手数料							
	起債	5,600	19,300	17,200	14,000	13,000		
	その他の特財							
	一般財源	5,637	6,172	2,300	18,374	16,000		
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	6,655	6,655	6,655	6,655	6,655		
総コスト費(千円)(A+C)		29,067	43,130	37,667	58,142	54,655		
人口あたりコスト(円)		4,797	7,117	6,216	9,594	9,019		
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	24 年度			25 年度 目標値	26 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	下水道管布設	m	300	341.7	114%	62	200
②	目標指標	供用開始件数	件	10	12	120%	6	6
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 234% / 2 = 117% (A)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証

評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	全村水洗化計画に基づくものであり、村民のニーズに合致しており大いに貢献している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	水洗化に向けた取り組みとして効果がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	4 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	計画どおりに効率的に進められた。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	4 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	公平である。

○事務事業評価値 16 / 16 100% (B)

(2)検証結果

目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
117%	100%	108%	a

a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)
 b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)
 c: 50~69%(縮小又は見直し改善)

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性

①改善の方向性(自己評価)

B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
---	---------------------------------------

②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等

村民の生活環境の改善、公共水域の水質保全を図るため、引き続き実施する。

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果

村民の生活環境の改善、公共水域の水質保全を図るため、引き続き実施する。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
-------------------------------------	---	---

(2)第三者による有識者会議結果

		A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
--	--	---

(3)行政経営戦略会議結果

村民の生活環境の改善、公共水域の水質保全を図るため、引き続き実施する。	B	A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
-------------------------------------	---	---